

第2期高知県産業振興計画 ver.3(案)の主な改定内容

1 これまでの取り組みの蓄積を生かし、より大きな、より実効性のある施策へとバージョンアップ。併せて、PDCA サイクルに基づく不断の点検や、施策間の有機的な連携の確認を通して、産業成長戦略及び地域アクションプランの取り組みを強化

※5つの改定のポイントは、別添「【資料3】産業成長戦略の平成26年度県予算を踏まえた重点項目」及び「《参考1》第2期産業振興計画 ver. 3《総論》(案)p.39～p.45」を参照

※産業成長戦略の改定内容は、別添「《参考2》第2期産業振興計画 ver. 3《産業成長戦略》(案)」を参照

※地域アクションプランの改定内容は、別添「【資料2】地域アクションプランの平成26年度の追加・拡充・削除項目(案)」及び「《参考3》第2期産業振興計画 ver.3《地域アクションプラン(案)》」を産業

2 基本方向における「観光振興」の位置づけを変更

※別添「《参考3》第2期産業振興計画 ver. 3《総論》(案)p.29～p.33」を参照

	ver.2 までの整理		ver.3 からの整理案
基本方向1	足下を固め、活力ある県外市場に打って出る	→	足下を固め、活力ある県外市場に打って出る ◆ <u>県外からの観光客の誘客を図る</u>
基本方向2	産業間の連携を強化する ◆ <u>県外からの観光客の誘客を図る</u>		産業間の連携を強化する
基本方向3	足腰を強め、地力を高める		足腰を強め、地力を高める
基本方向4	新たな産業づくりに挑戦する		新たな産業づくりに挑戦する
基本方向5	産業人材を育てる		産業人材を育てる
基本方向6	移住促進により、活力を高める		移住促進により、活力を高める

<変更理由>

- ・観光産業は、様々な分野への経済波及効果が見込めることから、計画策定時点から現在まで、観光振興の取り組みを、基本方向の「産業間の連携を強化する」に位置づけ、官民協働により推進を図ってきた。
- ・昨年の県外観光客の入込数は、NHK 大河ドラマ「龍馬伝」の放送以来3年振りに 400 万人台を達成。「龍馬伝」放送前の入込客数は310万人前後の規模であったことから考えると、本県の観光は、一段上のステージに移行したものと考えている。
- ・平成26年度からは、400万人台の定着を目指し、本県観光のさらなる飛躍を図るため、今回、基本方向を外貨を稼ぐ「外商」の取り組みとして整理するもの

3 その他の「総論」への追記

○これまでのPDCAサイクルによる点検・検証に加えて、

- ・4年後、10年後の目標の達成に向け、年度ごとの到達点を設定するとともに、施策間の有機的な連携の確認をしながら、よりきめ細かに取り組みの検証を行っていくこと
- ・平成26年度からは、「高知家」コンセプトのもと、地産地消・外商、観光振興、移住促進の政策を統一的に展開することによって、より高いレベルの相乗効果をもたらしていくこと

※別添「《参考3》第2期産業振興計画 ver. 3《総論》(案)p.6」を参照

○県内における官民協働や市町村との連携協調に加え、移住促進や外商などの取り組みにおける県外の大手企業との新たな連携構築や、四国の他の4県や国の機関、経済団体との連携など、様々な対外的な連携強化を図ること

※別添「《参考3》第2期産業振興計画 ver. 3《総論》(案)p.6」を参照